

閉会に際し、弘前大学 副
学長 若林先生、医学研究
科長 廣田先生からご挨拶
をいただき、当シンポジウ
ムは大きな拍手に包まれ成
功裡に終了しました。

弘前大学 COI は今後も
学内外の先生方、参画機関
はじめご関係皆さまのご指
導・ご協力を賜りながら、
本事業のさらなる推進、
ソーシヤル・ヘルスイノ
ベーションの推進、SDGs
への貢献を目指し躍進して
参ります。引き続きのご指
導の程、どうぞよろしくお
願い申し上げます。

長崎医科大学
医学研究科

医学教育分野別評価を受審して

医学研究科長 廣田和美



弘前大学医学部医学科は、本年九月十四～十七日の四日間にわたって、一般社団法人日本医学教育評価機構（JACME）による医学教育分野別評価を受審しました。まず初めに、JACMEの医学教育分野別評価についての背景を簡単に説明します。

英国、米国等の欧米諸国では、Medical Councilや医学学校協会等が中心となつて、医学教育の分野別評価を十年以上前から実施しており、特に米国では百年以上も前に全米医師連合（AMA）と全米医学学校協会（AMC）の合同チームによる医学学校の医学教育に対する査察が行われました。また、アジア圏の韓国、台湾、タイ、マレーシア等でも、自主的に医学教育の分野別評価が実施されてきました。そして二〇一〇年九月に、米国医師国家試験受験資格審査NGO団体（ECFMG）から、「二〇二三年以降「コロナ禍のため二〇二四年に延長」は、国際基準で認定を受けた医学学校の出身者には申請資格を認めない」との通告がありました。このようなグローバル化に対応し、国際的に通用する医師養成制度を確立すべく、

全国医学部長病院長会議内に「医学教育質保証検討委員会」が組織され、文部科学省とも協議し国際的にも通用する医学教育の質保証の仕組みづくりが進められました。その結果、分野別評価組織としてJACMEが設立され、評価基準とし

ので、各医育機関は何としても受審して認証を受ける必要が生じたわけです。本医学科も受審に向けて、若林医学部長の時代から数年をかけて、医学教育のための組織作りや規程の整備を行い、かなりの労力と時間をかけて受審準備を行ってきました。受審時にはその成果を示すべく、JACME審査員を前にした「全体説明」において、弘前大学のスローガンである「世界に発信し地域と共に創造する」を具現化し実践

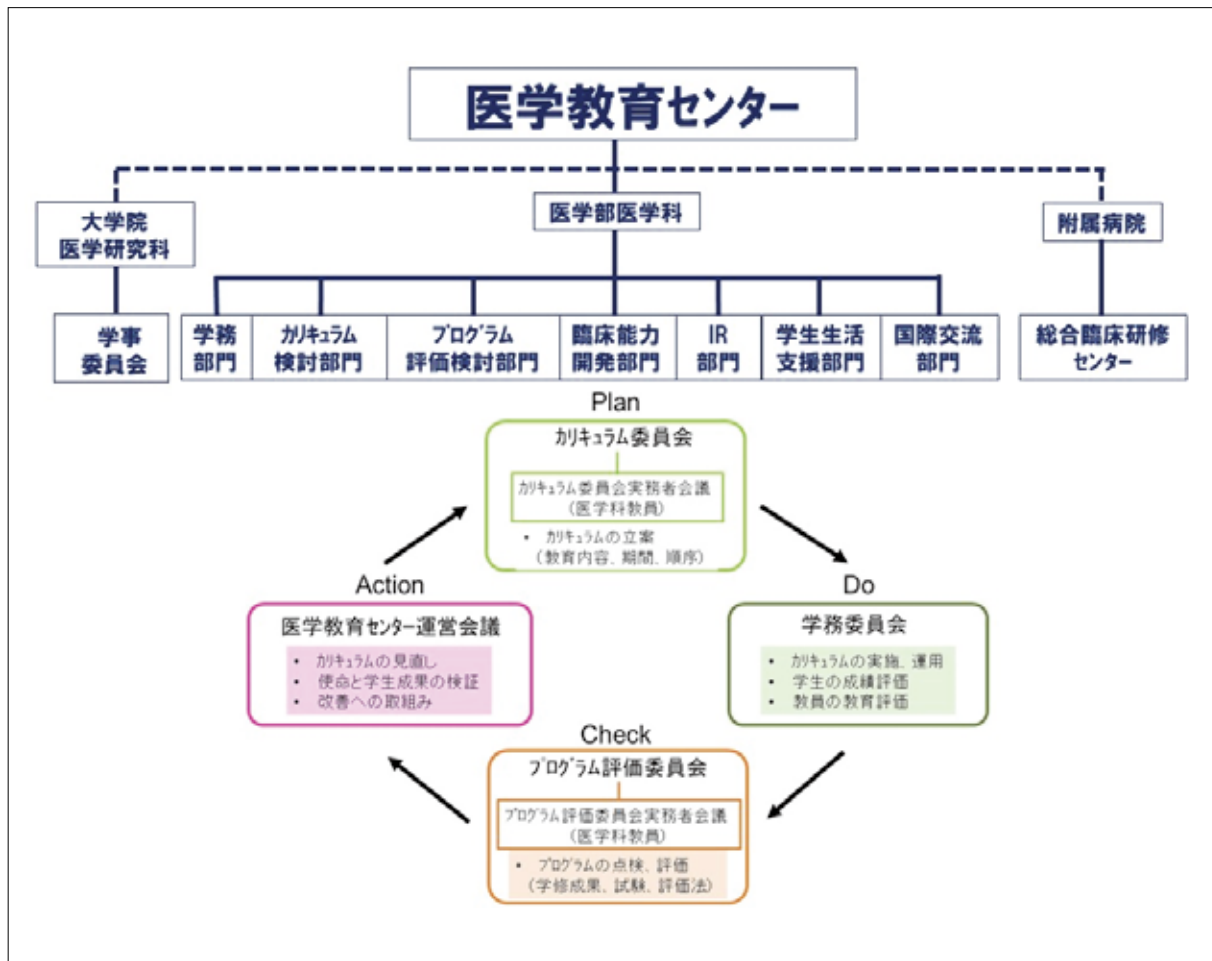


図. 医学教育センター組織図と教学のPDCA サイクル

している地域に根差した教育・診療・研究を、プロモーションビデオとスライドで強調しました。その後、領域別検討会議（領域1…使命と学修成果、領域2…教育プログラム、領域3…学生の評価、領域4…学生、領域5…教員、領域6…教育資源、領域7…教育プログラム評価、領域8…統轄および管理運営、領域9…継続的改良）に入りまし

臨床検査医学講座の萱場です。二〇一一年十一月十六日付けで弘前大学に着任し、十年の任期終了を期に二〇二一年十一月十五日をもちまして弘前大学を退職いたしました。あつという間の十年に思えますが、よく振り返ってみますと実に様々なことが思い起こされます。うれしいこともあり、慙愧に堪えぬこともあり、様々です。折に触れてたくさんの方からアドバイスやお励ましを頂きながらやって来たのだなあ：といまさらながら再確認を



退職にあたってのぞく挨拶

臨床検査医学講座 教授 萱場 広之

している次第です。私の業務の場は附属病院の検査部と感染制御センターでした。検査部は人員も多く、技師長に業務の多くを担ってもらっておりました。弘前大学の検査部は保健学科学生、医学科学生、外部施設からの研修生など、ほぼ一年中にわたって学生実習があり、最盛期には五十人以上が実習を行います。検査技師は年々増加するルーチン業務に対応しつつ、教育にも対応しております。検査技師養成課程を有しない単科大学や大規模な大学の検査部がひしめく中で、弘前大学の検査部では、濃厚な学生教育もこなしつつ技師一人当たりの検査件数、点数ともに日本の大学の上位にランクされており、検査技師の努力には敬意を払っております。系教員（学外臨床実習施設を含む）の皆様方の負担は、学生評価という点で今後大幅に増しますが、国際基準に合わせた医学教育は必須ですので、皆様の御協力が必要です。今後は、教育改善のため、各臨床系講座に教育担当講師（または准教授）の様な実務責任者を置き、実務責任者の意見も取り入れながら、医学教育センターでの教育改革を各講座の隅々まで浸透させるようにしていきたいと思っております。どうか御協力の程、宜しく願ひ致します。

た。しかし、それでもなお高度医療を担う当院の診療側から求められる様々な要求に充分お応えできない場合も多々あり、その都度診療科の皆様にはご理解を賜っていただきましたこと、この場で今一度感謝申し上げます。感染制御センター業務は、着任時には認定資格を有する感染管理看護師（以下、慣例的呼称のICNと記載します）がおりませんでした。ICNは感染制御のエキスパートであり、感染制御の中心です。最低でも二百―三百床に一名はICNの配置が必要とされており、十年前にはすでに全国の大学病院はもちろん、殆どの主要な市中病院にはICNが配置されておりましたので、着任時に弘前大学にICNが不在であることとを知り、かなり驚くとともに覚悟を決めたのを覚えております。看護部や病院のご理解を頂き、感染制御の体制がある程度形が整ってまいりました。ご理解とご協力をいただいたことに心より感謝申し上げます。ただし、感染制御はコロナ禍の中で明らかになったように、病院内のみならず様々な形で社会貢献が求められ、更なる人材の育成と体制強化が求められております。今後とも皆様からご支援を頂きたく、よろしくお願い申し上げます。皆様のご健康と弘前大学の発展を願っております。お世話になりました。

第1回不整脈心電学会東北地方会

最優秀演題賞受賞に寄せて

不整脈先進治療学講座 講師 伊藤 太平

先日、第一回不整脈心電学会東北地方会で最優秀演題賞を受賞し、この受賞に関して医学研究科広報委員会委員長の青木昌彦先生より原稿の執筆依頼を頂きましたので、拙文ですが寄稿させていただきます。受賞演題は「Grid catheterを用いたペーシング手法が瘢痕関連心室頻拍のcritical isthmus 同定に有用であった虚血性心筋症の一例」と題しまして、当科で経験した心室頻拍アブレーション症例を報告いたしました。詳細は割愛いたしますが、

有効通電部位を示唆する既知のペーシング所見を得た際、多点マッピングカテーターで同時取得した周囲の興奮伝搬様式から未知の現象を発見し、至適通電部位の選別に有用であったことを発表いたしました。時間の都合上、推定されたメカニズムの提示は一部に留めましたが、後日、その詳細を英文誌上の論文内で補完しております。

近年、不整脈領域のアブレーション治療におけるテクノロジーの進歩は目覚ましく、マッピング手法の進

化も例外ではありません。その一例として従来のアブレーションカテーターによる単点マッピングから、複数のより小さな電極を有する多極カテーターを用いた効率的な多点マッピングへと変遷を遂げたことが挙げられます。心房性不整脈から始まったこの潮流は、心室内マッピングに適した複数の電極が格子状に配置されたGrid catheterの登場によって心室性不整脈にもたらされ、短時間で効率的

な至適通電部位の絞り込みが可能となりました。このようにして得られた詳細なマッピングデータの分析から提唱された新しいマッピング手法も、最近の心室頻拍アブレーションの治療成績向上に寄与しております。

当科は既に東北有数のアブレーション件数を誇る施設ですが、現在はいくつか新しいモダリティや手法を駆使して、致死性不整脈を含む心室性不整脈に対する高度専門治療を担う全国でも数少ないハイボリュームセンターとしても機能しております。これは循環器内科医のほか、高度な技能と豊富な経験を有する看護

師、臨床工学技師、放射線技師によって実現しています。このような環境下で治療に携わらせていただく中、記念すべき第一回目の東北開催の最優秀演題賞を弘前大学へもたらす責務を果たせたことは、ひとえに高度なアブレーション治療を可能とするチーム力の賜物であり、診療科長の富田泰史先生をはじめ、演題発表の機会を与えてくださった木村正臣先生、アブレーション手術に関わっていただいた全てのスタッフの皆様に感謝申し上げます。今後もこのチーム力が継続され、不整脈診療に従事される後進の先生へこのバトンが引き継がれることを切に願っております。

第56回日本小児腎臓病学会学術集会

優秀演題賞を受賞して

青森県立中央病院 新生児科

佐藤 理子

(脳血管病態学講座)

二〇二一年七月九日十日、高知県において第五十六回日本小児腎臓病学会学術集会が開催されました。

COVID-19感染症流行のため、現地とオンラインのハイブリッドの開催となりました。今回、私は基礎・遺伝子関連部門において「抗マラリア薬はヒト腎系球体内皮細胞 (GECs) でのToll様受容体3 (TLR3) シグナルを介した炎症性ケモカインの発現を抑制する」という演題で口演発表の機会を得ましたので、許可をいただいた上で現地へと向かいました。

抗マラリア薬は全身性エリテマトーデス (SLE) の治療薬として使用されてき



ましたが、機序はまだ不明な点が多いです。自然免疫受容体であるTLR3を刺激することにより、GECsから炎症性ケモカインが分泌されることが分かっています。抗マラリア薬をGECsに予め添加すると、炎症性ケモカインの分泌が抑制されることが明らかとなりました。また、その作用点が薬剤の種類 (クロロキン、ヒドロキシクロキン) によって異なることが今回初めて分かり、これが機序解明の

一助となるのではないかと、このことを発表しました。初めての全国学会における口演で、さらに小児腎臓



第144回日本医学放射線学会北日本地方会

優秀演題賞を受賞して

放射線診断科 医員 辰尾 宗一郎

卒後七年目で放射線診断科に所属している辰尾宗一郎と申します。

この度、二〇二一年七月にWEB開催された第百四十四回日本医学放射線学会北日本地方会診断部門で優秀演題賞を受賞しましたので、ご報告致します。

発表演題は、「口腔内環境が脳容積に与える影響：A rural Japanese population study」です。日本は高齢化社会であり、認知症は社会的な問題となつていま

す。脳には、脳予備能という概念があり、脳容積の減少は認知機能低下のリスク因子であると知られています。本研究は、口腔内環境の悪化は脳の萎縮に影響を与え、という仮説を検証す

るものです。概要は、いきいき健診参加者二千三百九

十人を対象とし、口腔内環境のパラメーターとして残存歯数と舌圧という二つの因子と、全参加者の画像から抽出した全灰白質容積、白質容積、海馬容積との間の関連性について重回帰分析しました。結果は、残存歯数の低下と低舌圧は全灰白質容積の減少と有意に相関しました。残存歯数の低下は、歯周病に関連しており、歯周病による慢性炎症は、大脳白質の Small vessel disease と関連します。また、低舌圧は嚥下や会話といった頭頸部機能と関連し、この機能低下が口腔内から三叉神経領域の刺激低下に影響し、脳の容積減少に繋がる可能性があります。今回の横断研究からは、口腔内環境の悪化は脳容積減少の原因であるか結



（次ページへ続く）

(前ページより)

果であるかは不明なため、因果関係については追跡調査をしたいと考えています。本研究の強みとして、多数の参加者に対し口腔内環境検査と脳MRIが実施されており、結果の信頼性が高いと言えます。

今回の研究では画像解析ソフトを使用し、多数の被験者の画像解析を行い、現時点で多数のデータを得ることができました。今後は画像データと岩木プロジェクトの豊富な臨床データを利用し、様々な分野で研究を行っていききたいと思っています。

弘前大学COI研究推進機構の中路重之特任教授を始めとした、いきいき健診プロジェクト参加者の方々に御協力を頂き、膨大な臨床データを使用して頂きました。本研究は社会医学講座、歯科口腔外科学講座、附属病院医療情報部の先生方との共同研究です。また、放射線診断学講座の掛田教授をはじめとする先生方にご指導、ご助言を頂きました。研究に携わってくださった全ての方々に、厚く御礼申し上げます。今回の受賞を励みにして、臨床・研究活動に精進して参りたいと思います。今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



第4回櫻井医学研究賞授賞式

医学研究科長 廣田 和美

櫻井記念医学研究賞は株式会社丸大サクラ牛薬局(代表取締役：櫻井清氏)からのご寄附を原資として平成二十九年度に設立されました。特別賞は一件三百万円以内、若手奨励賞は二件百万円以内としており、選考にあたっては、これまでの国際共同研究の実績だけでなく、今後の研究計画を審査し、受賞者には研究論文を成果として求めることとしております。

第四回となる今年度は四月に公募を開始し、特別賞には三名、若手奨励賞には五名の応募がありました。研究推進委員会における選考の結果、特別賞にはテニユアの飛澤悠葵助教(研究課題：腫瘍免疫における細胞膜貫通型ヒアルロン酸分解酵素の役割)に決まりました。また、若手奨励賞には、病理生命科学講座の吉澤忠司助教(研究課題：Tissue clearing法を用いた胆

道・膵臓癌の神経周囲浸潤の3次元画像解析)と地域救急医療学講座の村井康久助手(研究課題：炎症性腸疾患の難治化における抗癌剤感受性遺伝子Schlafen11の臨床的意義)に決定致しました。

回櫻井記念医学研究賞授賞式が、福田眞作学長にもご列席頂き行われ、医学研究科長挨拶の後、今回の受賞者に助成金が贈呈されました。福田学長並びに櫻井社長よりお祝いのお言葉があり、続いて受賞者からは挨拶と受賞対象となった研究に関する説明がなされました。最後に参加者全員で記念撮影を行い、式は終了致しました。

この度は、第四回櫻井医学研究賞若手奨励賞を受賞させていただく事になりました。本研究賞に関して、多額のご寄附をくださいます。株式会社丸大サクラ牛薬局、櫻井清様並びに関係者の皆様、選考委員の先生方に深く感謝いたします。今回助成して頂くテーマは、

「Tissue clearing法を用いた胆道・膵臓癌神経周囲浸潤の3次元画像解析」です。胆道癌・膵臓癌を日々病理診断しておりますと、その病理組織学的特徴として、癌の神経周囲浸潤の頻度が多

えられています。しかし、癌と神経との関係、腫瘍細胞における神経新生、癌細胞がどのように神経周囲に浸潤するかについて、詳細な三次元構造を明らかにした報告はありません。そこで、本研究では、新たな手法である「Tissue clearing法」を用いて癌細胞の神経周囲浸潤の三次元構造、そして、そのメカニズムを明らかにすることを目的としています。病理組織を利用した「Tissue clearing法、3次元画像解析方法は、Department of Pathology, Johns Hopkins Medical Institutions留学中に学んだ技術です。Hopkinsではこの手法を用いて、膵臓癌の静脈侵襲像の解析、胆道癌の悪性度と浸潤病巣の3次元形態解析を行って

特別賞を受賞して

テニユア 助教 飛澤 悠 葵

このたび第四回櫻井医学研究賞特別賞に選出いただき大変光栄に存じております。まずは賞の設立、運営に携わっていただいた先生方、職員の皆様、また原資をご寄附いただきました株式会社丸大サクラ牛薬局の櫻井清様に深く御礼申し上げます。

CM)の主要な成分として豊富に存在しています。その性状は熱を加えた水溶性片栗粉のように透明かつ弾性を持つっており、また水分保持能力も高いことから皮膚の保護に有効であることがよく知られていますが、この機能は細胞単体にとっても類似の作用があることが報告されてきました。癌細胞においてはこのヒアルロン酸を主要な成分としたジェル状の層構造を細胞表面に保持することで免疫細胞の攻撃から自身を保護することが知られ、この層を破壊することが腫瘍排除に重要であることが報告されています。この機構において免疫細胞の細胞表面ヒアルロン酸分解活性が重要であることは予想されてきましたが、これまで責任分子

CM)の主要な成分として豊富に存在しています。その性状は熱を加えた水溶性片栗粉のように透明かつ弾性を持つっており、また水分保持能力も高いことから皮膚の保護に有効であることがよく知られていますが、この機能は細胞単体にとっても類似の作用があることが報告されてきました。癌細胞においてはこのヒアルロン酸を主要な成分としたジェル状の層構造を細胞表面に保持することで免疫細胞の攻撃から自身を保護することが知られ、この層を破壊することが腫瘍排除に重要であることが報告されています。この機構において免疫細胞の細胞表面ヒアルロン酸分解活性が重要であることは予想されてきましたが、これまで責任分子

CM)の主要な成分として豊富に存在しています。その性状は熱を加えた水溶性片栗粉のように透明かつ弾性を持つおり、また水分保持能力も高いことから皮膚の保護に有効であることがよく知られていますが、この機能は細胞単体にとっても類似の作用があることが報告されてきました。癌細胞においてはこのヒアルロン酸を主要な成分としたジェル状の層構造を細胞表面に保持することで免疫細胞の攻撃から自身を保護することが知られ、この層を破壊することが腫瘍排除に重要であることが報告されています。この機構において免疫細胞の細胞表面ヒアルロン酸分解活性が重要であることは予想されてきましたが、これまで責任分子

CM)の主要な成分として豊富に存在しています。その性状は熱を加えた水溶性片栗粉のように透明かつ弾性を持つおり、また水分保持能力も高いことから皮膚の保護に有効であることがよく知られていますが、この機能は細胞単体にとっても類似の作用があることが報告されてきました。癌細胞においてはこのヒアルロン酸を主要な成分としたジェル状の層構造を細胞表面に保持することで免疫細胞の攻撃から自身を保護することが知られ、この層を破壊することが腫瘍排除に重要であることが報告されています。この機構において免疫細胞の細胞表面ヒアルロン酸分解活性が重要であることは予想されてきましたが、これまで責任分子

若手奨励賞を受賞して

病理生命科学講座 助教 吉澤 忠 司

この度は、第四回櫻井医学研究賞若手奨励賞を受賞させていただく事になりました。本研究賞に関して、多額のご寄附をくださいます。株式会社丸大サクラ牛薬局、櫻井清様並びに関係者の皆様、選考委員の先生方に深く感謝いたします。今回助成して頂くテーマは、

「Tissue clearing法を用いた胆道・膵臓癌神経周囲浸潤の3次元画像解析」です。胆道癌・膵臓癌を日々病理診断しておりますと、その病理組織学的特徴として、癌の神経周囲浸潤の頻度が多

えられています。しかし、癌と神経との関係、腫瘍細胞における神経新生、癌細胞がどのように神経周囲に浸潤するかについて、詳細な三次元構造を明らかにした報告はありません。そこで、本研究では、新たな手法である「Tissue clearing法」を用いて癌細胞の神経周囲浸潤の三次元構造、そして、そのメカニズムを明らかにすることを目的としています。病理組織を利用した「Tissue clearing法、3次元画像解析方法は、Department of Pathology, Johns Hopkins Medical Institutions留学中に学んだ技術です。Hopkinsではこの手法を用いて、膵臓癌の静脈侵襲像の解析、胆道癌の悪性度と浸潤病巣の3次元形態解析を行って



今回挑戦させていただく研究テーマは「腫瘍免疫における細胞膜貫通型ヒアルロン酸分解酵素の役割」です。ヒアルロン酸は健康食品や化粧品などの分野で水分保持能力が高く、保湿効果が高いことからよく耳にする物質であると思います。ヒアルロン酸は実際のところ二種類の糖が交互に連なった巨大なポリマー状の糖鎖であり、生体においては細胞外マトリックス(E

CM)の主要な成分として豊富に存在しています。その性状は熱を加えた水溶性片栗粉のように透明かつ弾性を持つっており、また水分保持能力も高いことから皮膚の保護に有効であることがよく知られていますが、この機能は細胞単体にとっても類似の作用があることが報告されてきました。癌細胞においてはこのヒアルロン酸を主要な成分としたジェル状の層構造を細胞表面に保持することで免疫細胞の攻撃から自身を保護することが知られ、この層を破壊することが腫瘍排除に重要であることが報告されています。この機構において免疫細胞の細胞表面ヒアルロン酸分解活性が重要であることは予想されてきましたが、これまで責任分子

CM)の主要な成分として豊富に存在しています。その性状は熱を加えた水溶性片栗粉のように透明かつ弾性を持つおり、また水分保持能力も高いことから皮膚の保護に有効であることがよく知られていますが、この機能は細胞単体にとっても類似の作用があることが報告されてきました。癌細胞においてはこのヒアルロン酸を主要な成分としたジェル状の層構造を細胞表面に保持することで免疫細胞の攻撃から自身を保護することが知られ、この層を破壊することが腫瘍排除に重要であることが報告されています。この機構において免疫細胞の細胞表面ヒアルロン酸分解活性が重要であることは予想されてきましたが、これまで責任分子

CM)の主要な成分として豊富に存在しています。その性状は熱を加えた水溶性片栗粉のように透明かつ弾性を持つおり、また水分保持能力も高いことから皮膚の保護に有効であることがよく知られていますが、この機能は細胞単体にとっても類似の作用があることが報告されてきました。癌細胞においてはこのヒアルロン酸を主要な成分としたジェル状の層構造を細胞表面に保持することで免疫細胞の攻撃から自身を保護することが知られ、この層を破壊することが腫瘍排除に重要であることが報告されています。この機構において免疫細胞の細胞表面ヒアルロン酸分解活性が重要であることは予想されてきましたが、これまで責任分子

CM)の主要な成分として豊富に存在しています。その性状は熱を加えた水溶性片栗粉のように透明かつ弾性を持つおり、また水分保持能力も高いことから皮膚の保護に有効であることがよく知られていますが、この機能は細胞単体にとっても類似の作用があることが報告されてきました。癌細胞においてはこのヒアルロン酸を主要な成分としたジェル状の層構造を細胞表面に保持することで免疫細胞の攻撃から自身を保護することが知られ、この層を破壊することが腫瘍排除に重要であることが報告されています。この機構において免疫細胞の細胞表面ヒアルロン酸分解活性が重要であることは予想されてきましたが、これまで責任分子

(次ページへ続く)

(前ページより)
パ、中国といった多国間の「G20」と共同で研究を行っていました。日本では（少なくとも私の環境では）、まだこのような状況ではなく、今後本研究基金を活かして、国外だけでなく、国内、また、他講座の先生方と協力して、少しずつ研究成果を上げられたらと考えております。最後に、このような貴重な機会を与えてくださった全ての方に感謝いたします。

若手奨励賞を受賞して

地域救急医療学講座

助手 村井 康久

(消化器血液内科学講座)

この度第四回櫻井記念医学研究賞若手奨励賞を頂き、大変光栄に存じます。賞の原資をご寄附くださいました株式会社丸大サクラ中薬局の代表取締役 櫻井清様並びに選考に関われた先生方関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

私は『炎症性腸疾患の難治化における抗癌剤感受性遺伝子 Schlafeni1 の臨床的意義』という研究テーマで応募させていただきました。

Schlafeni1 (SLFN11: シュラーフェンイレブ1) は複数の大規模がんデータベースの解析によりDNA標的抗癌剤に対する感受性遺伝子として二〇一二年に同定されました。世界中で普及している癌細胞株の約半数でSLFN11の発現を認め、分子生物学的研究の結果、腫瘍DNAに損傷が生じた際にその複製フォークにSLFN11が誘導され、DNA複製の進行を阻害する機序が明らかにされました。また、二〇二〇年にはファンconi貧血細胞においてSLFN11がゲノム分解を促進して不安定化させることが京都大学の研究チームより報告されました。近年、各癌腫における臨床的検討においても、SLFN11陽性腫瘍は陰性腫瘍と比べ

予後が良好であることが報告されており、汎用性の高いバイオマーカーとしての応用が今後期待されています。

一方、SLFN11はウイルス増殖の抑制、自然免疫応答など免疫学領域への関与が示唆されており、ヒト線維芽細胞、単球細胞並びに単球由来樹状細胞においてType I IFN、poly-IC、poly-DACTがSLFN11を誘導することも報告されています。ヒト正常細胞におけるSLFN11の発現は臓器選択的であり、細胞のホメオスタシスへの関与が考えられています。その機能は未だに明らかになっておりません。

私は、二〇一九年四月から米国National Institutes of Health (NIH) National Cancer Institute (NCI) にYves Pommier博士のもとで研究留学を行い、SLFN11の研究に従事しておりました。その中で、SLFN11が腫瘍細胞株においてERストレスとunfolded protein responseを抑制する、②JAK機能獲得変異を有する複数の白血病細胞株でSLFN11が過剰発現しており、SLFN11の発現はJAK阻害薬で抑制されることを明らかにし

令和3年度 教育に関して優れた業績を上げた教員を受賞して

地域医療学講座

准教授 島 田 美智子

(循環器腎臓内科学講座)

平成三十年に続き二回目の受賞となりました。私の講義を聞いて評価してくださった学生の皆さんありがとうございました。本当に嬉しく、光栄に思っています。学生時代の私は、講義に十分ついていくことが難しく、すぐに飽きてしまいうタイプでした。学生時代に誰よりも講義を聞いていなかった私が、講義を頑張っているなんて、同級生のみんなはすごく驚いていると思います。

腎臓は尿を作る臓器、生命維持のために必須な臓器であります。そのために「糸球体」という血液をろ過する装置があります。それはまさに「毛細血管で作られたフィルター」で、一生取り換えのきかないものです。そう考えると、腎臓を大事にしなきゃ。という思いが湧いてきませんか。このように腎臓のはたらき

ました。同時期に、東京医科歯科大学の研究グループより潰瘍性大腸炎(UC)患者の腸管粘膜上皮ならびにUC患者由来の腸管オルガノイドモデルにおいて、SLFN11の発現が亢進しており、過剰なアポトーシスが誘導されていることが報告されました。UCの内科的治療は抗TNFα抗体をはじめとした生物学的製剤の登場により大きく進歩しましたが、難治症例や長期経

は、血管年齢、もつと言うと余命と大変関係が強いのです。さらに、体内環境を一定に保つため、ろ過をしたあとに「尿管」では、必要なものを回収したり、さらにゴミ捨てる機能もついています。こんなふうに「腎臓って、なんてすごいだろう!」という私自身に感動したことを、学生さんにも伝えていきたいと思っています。

腎臓病の病態説明は、近年目覚ましく進んでいます。授業にあたっては、学生さんがすでに病理学や生理学で学んだ知識を思い浮かべながら、病気の疾患概念をしっかりと理解できるように努めています。

また、腎臓病では、浮腫などの症状で病気が判明する場合はまだ良く、症状のない患者さんが多いです。そのような場合に、正しく病気を理解してもらい、時には、副作用のリスクが大

過中に炎症性発癌を伴う症例もあり、治療薬選択と癌サバイランスの最適化が求められています。今後、NCIとの国際共同研究を含め炎症性腸疾患におけるSLFN11の生物学的ならびに臨床的意義の研究に邁進したいと存じます。

私は未だ駆け出しの研究職であり、今後も先生方の御指導御鞭撻を賜ることに存じます。その際は何卒よろしく申し上げます。

きい治療を受けて頂いたり、減量、減塩など生活習慣の改善に取り組んで頂いたりするには納得のいく説明が必要です。また、病気を拒絶してしまう人が、怖がりで見えない性格であることもしばしばです。正解はありませんが、患者さんの性格や受け入れ状況を見極めながら、ちよ

消化器内科、血液内科、膠原病内科

講師 平賀 寛 人

この度は、「令和三年度教育に関して優れた業績を上げた教員」として表彰頂きまして、誠にありがとうございます。身に余る名誉に大変恐縮しております。

私は、青森県立八戸高等学校を卒業後に本学に入学、平成十三(二〇〇一)年卒業、同年本学内科学第一講座(現・消化器血液内科学講座)に入局しました。学生時代に臨床研修で目にした消化器内視鏡に心を奪われて、カッコーい消化器内視鏡医」になるぞと当時は息巻いておりましたが、二十年後に、教育に

ベースで指導や治療をすめていく、そういう患者中心医療を目指しています。今どきは、インターネットの普及により国家試験のプロが、予備校のような効率的な講義を提供しています。そんななかで、弘前大学の授業も聞いてみようと思ってもらえるよう、教科書的知識のほかにも、そのときの心のままに、どんな思いで診療しているか、少しづつお伝えしていきたいと思っています。

医としての研鑽を積み、平成二十四(二〇一二)年に大学に戻って参りました。小・中・高・大学・大学院時代のいづれをとっても決して「優等生」ではなく、先生方にご迷惑をお掛けし続けた「ダメ学生」だった私が、将来、命を救うことで誰かの人生を大きく左右する、間接的に日本あるいは世界を大きく変え得る職業である医師となる優秀な学生さんや医局の若手を教育する立場となったわけです。：が、特に心を入れ替えて頑張ったわけでもなく、ありのままの「元・ダメ学生」として一緒に勉強する、できるだけ分かりやすく医学の面白さを共有する、という姿勢で自分自身も楽しみつづ、取り組んできました。臨床講義に関しましては、自分自身が苦手だった「血管炎」の担当となり、はじめは「ゲツ!」と思いましたが、得意の「ダメ学生」目線で国試問題も内容に盛り込んで、一緒に勉強させて頂きました。学生さんに教えることで理解も深



導して下さった多くの先生方、高い評価をしてくれた学生さんに深く感謝して筆をおきます。ありがとうございました!!



令和3年度 弘前大学大学院医学研究科

慰霊施設参拝

生体構造医科学講座 教授 下田 浩

本年十月五日に予定されていた令和三年度弘前大学医学部解剖体慰霊祭は昨年度に引き続き新型コロナウイルスの感染拡大を受けて中止となりました。昨年より白菊会総会とともに弘前市民会館での開催に向けて準備を進めておりましたが、今夏より生じた感染第五波の状況を鑑み協議を重ねた結果、ご遺族を初め参列者の方々の安全を確保するのが困難であるうとのことから、今年度も慰霊祭の開催を中止せざるを得ませんでした。しかし、本学にご献体頂きました御霊に対して敬意を表す場を再び失ってはならないとの廣田和美医学部長のご英断により、関係代表者のみで弘前大学医学部慰霊施設を参拝し、式を執り行う機会を与えて頂きました。

研究科病理診断学講座、敦賀英知教授（保健学研究科放射線技術科学領域）に弘前市墓地公園までご参列頂き、参拝の式が執り行われました。最初に、弘前大学長期納骨施設に献体者名簿を納めました後、参列者全員でご献体頂きました御霊に黙祷を捧げ、ご冥福をお祈りいたしました。そし



慰霊祭が執り行われる予定であった同日の午後二時より、廣田医学部長、大山力病院長、齋藤陽子保健学科長、学生代表として医学部三年生の藤田爽佳さんと保健学科四年生の山道未聖さん、そして人体解剖に関連する講座を代表して鬼島宏教授（医学研究科病理生命科学講座）、高橋識志教授（医学研究科法医学講座）、黒瀬顕教授（医学研

て、廣田医学部長より同施設に代表献花が行われました。

次に、弘前大学埋骨施設に移動し、全員で黙祷を捧げました。その後、廣田医学部長、大山病院長、齋藤保健学科長、学生代表の藤田さんと山道さん、続いて参列者全員による献花が行われ、慰霊施設参拝は滞りなく終了いたしました。

当日はあいにくの雨の下での参拝となりましたが、関係諸先生方や学生の方々に慰霊施設まで足を運んでいただき、献体者慰霊の式が

令和3年度

秋季学位記授与式

医学研究科長 廣田和美

令和三年度弘前大学及び弘前大学大学院秋季学位記授与式が、令和三年九月三十日（木）午前十時三十分から、弘前大学創立50周年記念会館みちのくホールにおいて行われ、五十名に学位が授与されました。秋季学位授与者の内訳は、修士学位授与者二十二名、修士学位授与者十名、博士学位授与者十八名（この内、医学研究科は博士学位授与者十

行われましたことを参列者の一員として大変うれしく感じた一日でした。新型コロナウイルス感染の波もようやく落ち着きを取り戻しつつあるようで、大都市圏では非常事態宣言や飲食店の時短営業等が解除されてきました。この状態が長く続き、来年度はご遺族の方々と弘前大学白菊会を初めご来賓の方々をお招きして本学学生とともに従来の様式で慰霊祭が執り行われますことを心より願うばかりです。

（一名）でした。福田眞作学

長より、学部卒業生および大学院修了者に学位記が授与された後、告示が述べられました。引き続き、令和三年度弘前大学大学院医学研究科秋季学位記伝達式が行われ、出席した二名に私から学位記を授与致しました。修了生の皆さん、おめでとございました。心よりお慶び申し上げます。医学研究科では秋季学位授与者が毎年コンスタントに出ています。これは以下の二つの理由が挙げられます。一つ目は、四年の修業年限内に修了できる学生が減少したことです。大学院が部局化された平成十九年度から、学位論文として提出される論文はすべて査読制のある雑誌に採択されていることが義務づけられた結果、なかなか論文が採択されず、四年生として留年する学生が増加したこと

です。もう一つの理由は、逆に修業年限短縮制度を用いて修了する学生も増えていることです。医学研究科では、優れた研究業績を上げた学生については、三年あるいは三年半で修了することができるよう修了年限短縮制度を設けています。従って、春季入学で半年早く修了する学生と秋季入学で一年早く修了する学生は、秋季学位記授与式で学位を授与されることとなります。今年度の医学研究科の秋季修了生は甲の十一名でしたが、その内一名は修業年限短縮が認められて修了された方でした。

今回の修了生の学位論文も何れも素晴らしい内容であり、学位授与者の今後の活躍を期待したいと思えます。特に近年、日本発の高品質科学研究成果が大幅に減少（Nature Index 2019）しており、修了生は学位取得がゴールとは考えずスタートと肝に銘じて、是非研究に頑張ってください。

今年度の修了生の学位論文も何れも素晴らしい内容であり、学位授与者の今後の活躍を期待したいと思えます。特に近年、日本発の高品質科学研究成果が大幅に減少（Nature Index 2019）しており、修了生は学位取得がゴールとは考えずスタートと肝に銘じて、是非研究に頑張ってください。



中学生と医師との交流プログラム

学務委員長 鬼島 宏
(病理生命科学講座・教授)

将来医療職を目指す中学生を対象とした「医師との交流プログラム」が、令和三年八月十日に開催されました。平成二十六年から開始されたこの事業は、弘前市教育委員会が主催し、医学研究科が共催となっており、今年で八年目となります。弘前市内の八中学校から二十一名の中学生が参加しました。

医学研究科長と教育委員会・教育長の挨拶の後の実際のプログラムは、午前の「医学生との交流」、「現場視察」、午後の「若手医師と



の交流」の三部構成となっています。医学科生五名（二年次～六年次）との交流では、和やかな雰囲気の中でアイスブレイクや意見交換・質問が行われ、身体所見を取る実習なども体験しました。現場視察は、附属病院病理部で行われました。参加した中学生の皆さんは、医療用ガウン・医療用手袋を身につけると多少緊張感が漂いましたが、臆することなく実際の病理標本を手に取りながら、病気の本態や医療についての理解を深めました。昼食後

は、附属病院で活躍している若手の後藤真一医師（耳鼻咽喉科）・藤田彩香医師（リハビリテーション科）との交流が行われました。中学生からは様々な質問があり、それに対して若手医師として自らの体験意見をもとに、大変さもあるがやりがいや喜びが大きい旨を語られていました。



3D培養肉で和牛のサシまで再現

生体構造医科学講座 教授 下田 浩

大阪大学、大阪工業大学、凸版印刷、他数社、と筆者の研究チームはサシを含む和牛肉のような培養肉を3Dプリントで作ること

に世界で初めて成功し、本年八月二十四日に大阪大

学、弘前大学、大阪工業大学で同時にプレスリリースされました。この研究プロジェクトは大阪大学の松崎典弥教授からJSTの平成三十年度「探索加速型」研究開発事業として公募され

た「将来の環境変化に対応する革新的な食糧生産技術の創出」に応募したいという相談からスタートしました。松崎教授（当時准教授）とはかねてより三次元（次ページへ続く）

（前ページより）
生体組織開発研究を通して
協力体制を整えていました
が、以前松崎教授が牛肉を
作りたいと言われていたこ
とを憶えていましたので二
つ返事で共同研究者に加え
て頂きました。研究開始当
初は和牛ステーキのような
肉が作りたいという目標以
外は全てが手探り状態とし
たので、和牛肉の顕微解剖
学的解析を行った上で多数
の筋線維を毛細血管とともに
にコラーゲン線維の膜で束
ねたものを多数作製し、さ
らにそれらを多数の脂肪細
胞とともにコラーゲン膜で
包む巻き寿司のようなもの
をデザインコンセプトとし
て提示しました。従来積木
細工のように細胞を積み上
げて立体組織を作るのをは
ち番にしていた我々にはか
なりハードルが高いもので
したが、後日松崎教授の研
究室でインクジェット方式
が改良された3Dプリンタ
を用いて筋線
維が作られて
いく工程を目
の当たりにし
た時には本
当に感激しま
した。これに
さらに血管と
脂肪組織を組
み合わせてい
くことで本来
牛肉の構造を
持ち、さらに
サシの入った
培養肉が作製
されました。
この培養肉
はまだキャラ
メルほどの大
きさとはい
え、これまで
作製されてい
た筋細胞を単
純に固めたミ



ンチ肉のようなものと異なり、組織工学により和牛肉の構造が世界で初めて再現されたものです。多くの反響を頂き、松崎教授はもちろん、筆者までもがこれまでに複数の取材を受け、解剖学研究室で行っている業務全般を話題にアップルウエーブの番組にも出演させて頂きました。培養肉としての内容については既に新聞（朝日新聞、東奥日報など）やSNSで多くの報道がなされていますのでこちらを、また学術的な内容についてはNat Commun 2021 Aug 24;12(1):5059をご覧くださいただしましたら大変有難く存じます。筆者らの研究室では同様の技術を用いて再生医療材料や創薬・病態解明に向けた各種の医学研究モデルの開発を行っています。今後とも皆様のご指導とご叱正を頂戴できましたら幸甚に存じます。

医学生支援金による医学生支援プロジェクト ～学生からのお礼メッセージ～

基礎大講堂開放の監督業務、 学生支援事業補助のアルバイトに従事

医学科4年 芦 野 倭 子

休日に医学部校舎内の教室を開放し、学生が集中して学習できる環境を設けています。その際、感染対策に配慮するために、学生アルバイトによる消毒・換気作業を行っています。

医学生にとって、休日の勉強場所が確保できることは大変ありがたいことです。又、アルバイトを行う学生からは、収入が安定し、学習用

品を気兼ねなく買い揃えることができる、といった声も上がっています。

学生を代表し、このような支援を行ってくださることに、感謝申し上げます。



環境整備のアルバイトに従事

医学科2年 早 坂 脩 真

アルバイトの制限があるため収入を得ることが難しく、私は今後の生活に懸念を抱いていました。しかし環境整備の仕事によりその不安は解消され、勉学に集中することができました。

新型コロナウイルスの感染拡大により、今も多くの人が不安を抱えています。そのような状況の中で私たち学生のために医学生支援金を寄附してくださった皆様に、環境整備活動に従事した学生を代表して感謝の言葉を綴らせて

いただきます。本当にありがとうございました。



医学生支援金への寄附の御礼

医学科4年 門 間 翔 太

この度は、医学生支援金に寄附をいただき、本当にありがとうございました。

私は、放射線診断学講座にてMRIに関する研究補助のアルバイトという形で参加させていただいております。そして、寄附の一部をお給料という形で頂戴しております。頂戴したお給料は、生活費や医学書の購入など、大切に使用しております。

ここ1、2年は新型コロナウイルス感染症が猛威をふるっていることもあり、大学の外部でアルバイトを行うことが難しい状況です。その為、このような制度を設けて下さった大学、そしてアルバイト学生を引き受けていただいている研究室の先生方にも、この場をお借りして感謝申し上げます。

多くの方の支援があつて、学生生活を送れていること、研究できていることに感謝を忘れず、将来は一人前の医師になって、医療提供、医学研究の発展という形でこの御恩を還元したい所存です。

最後になりますが、アルバイトに参加している医学部の学生を代表して、皆さまに感謝申し上げます。



研究活動の様子

100 円弁当を購入

医学科4年 宇 梶 有佳里

新型コロナウイルス流行により、多くの学生がアルバイトする事ができない中、たくさんの方々のご支援によって100円で食事ができ、生活が大変楽になりました。

また、学生の一人暮らしでは、一人分の食事を、スーパーで買った食材を上手に余すことなく使って毎日作ることはとても大変で、まして試験期間は食事を作る時間も惜しんで勉強をするため、100円弁当の存在は金

銭面以外でも学生の大きな支えになりました。本当にありがとうございました！



医学展2021を 終えて

医学科四年 代表 佐久間 貴也

十月二十三日に行われた、弘前大学総合文化祭において、実に二年ぶりとなる医学展を開催致しました。今年の医学展は、COVID-19感染防止の観点から、弘大祭公式YouTubeチャンネルからの当日限定

ご紹介する6つの項目！
① 精神科「精神科におけるコロナ対応をご紹介します」
② 産婦人科「産婦人科を見れば状況が分かる！」
③ 産婦人科「エコーで赤ちゃんの成長を覗いてみよう」
④ 救急科「誰でもできる1次救命」
⑤ 社会医学「血圧測定って何？なぜ大事？」
⑥ 外科「傷も痛みも少ない最新の外科手術」



動画スクリーンショット



今年、四年生を中心に話し合いを重ね、医学展の歴史上新となる動画配信での開催を決断しました。これまで実施してきた体験ブースの、精神・臓器（病理・産科・救急・健診（社会医学）・外科の六つのテーマで二十分程度の動画を作りました。精神では、COVID-19に対応する医療従事者へのメンタルヘルス支援について新たな話題を取り入れました。また、産科では、エコーでの妊婦健診を映像と共に、胎児の見方や推定体重の計算について紹介しました。その他、肝硬変・慢性腎不全・乳がん

の動画配信となりました。長年医学展では、来場者との触れ合いを第一とした体験型の企画を実施して参りましたが、昨年は世界的なCOVID-19感染拡大により総合文化祭は中止となりました。未だ感染が収まらない今年は、学内関係者のみ来場可能での開催となり、毎年医学展を楽しみに来場してくださる、多くの近隣住民や中高生向けの体験型の企画実施が困難となりました。一昨年の前回、救急ブースで来場者の方々にBLSの紹介・実演に携わった私としても、例年通りの開催ができなかったことは本当に残念でなりません。

今年、四年生を中心に話し合いを重ね、医学展の歴史上新となる動画配信での開催を決断しました。これまで実施してきた体験ブースの、精神・臓器（病理・産科・救急・健診（社会医学）・外科の六つのテーマで二十分程度の動画を作りました。精神では、COVID-19に対応する医療従事者へのメンタルヘルス支援について新たな話題を取り入れました。また、産科では、エコーでの妊婦健診を映像と共に、胎児の見方や推定体重の計算について紹介しました。その他、肝硬変・慢性腎不全・乳がん



三沢米軍病院での研修

医学科六年 山口 叶

三沢米軍病院で五日間研修させて頂きました。三沢米軍病院は三沢基地で働いている方々のための病院です。基地内の言語は英語であり、病院での研修も英語

です。研修内容としては、救急科、整形外科、眼科、小児科を見学させて頂きました。日本の病院と比較して、どの科でも問診や身体診察に十分な時間をとっていました。何よりも、医師と患者さんが雑談も含めて楽しそうに診察されていることが印象的でした。こうした明るい雰囲気は病院全体にあり、病院スタッフと廊下などで会うと、気さくに話しかけて下さる方が多かったです。また、三沢米軍病院の研修では病院スタッフの方々の家にホームステイをします。病院での研修が終わってからも、ホストファミリーの方と有意義な時間を過ごすことができました。私は、ホストファミリーと基地内のジムを楽しむ、三沢市内の観光も一



命措置BLS、血圧測定の大切さ、最新外科手術など、日々の学びを活かした紹介も行いました。今年の開催は、「世界に発信し、地域と共に創造する」を掲げる本学において、これまで、地域と共に創り上げてきた「医学展を」世界に発信する大きな転換期となりました。来年こそは会場で開催できることを願ってやみません。最後に、動画作成に

緒にしました。また、日本人メンバー、ホストファミリー全員でのホームパーティーも開催され、親交を深められました。このように、三沢米軍病院の研修では米軍病院なら

三沢米軍基地での研修を通じて

医学科六年 奥 石 泰 樹

まず文章を書くに当たり、三沢病院でお世話になった天内さん、日本人研修医の先生方そして何よりDr. Blueに多大な感謝を申し上げます。早速ですが、私が三沢米軍基地実習を志望した理由は、将来アメリカで医師として働きたいことに加えて日本とアメリカの医療の違いを自分の目で確かめたかったためです。そこで今回私が体験したことを交えて特に関心したこと

を書いています。驚いたこと。まず三沢米軍病院ではE.R.の代わりとしてUCC (Urgent Care Center) という機関が存在しそちらでは救急ではない (emergency) ではないが (Urgency) 患者さんを診ています。患者さんが外来に来ると、最初の問診は専門の看護師が行い、その後医師がその問診をもとに患者を診察していました。また患者さんは三

度傾いた診察ベッドに座ったまま診察、病気の説明、治療法などを医師から十分程度かけて説明されていました。日本では見ることのできない診療スタイルで医師がすべての問診を行わなくて良いため、問診中にカルテを書く必要もなく、患者さんの目を見て診察しており、こんな診療が

ではの研修ができるのはもちろん、ホストファミリーとも密な関係を築ける価値ある機会だと思っています。このような機会を下さった、関係者の皆様に感謝申し上げます。

自分も出来たらいいなと思いました。

続いて産婦人科では最も多い処置として避妊・月経コントロールの治療があり、その一環としてIUD (Intrauterine device) を行っていました。これはまだ日本では数少ない処置であり、いずれ日本でも一般的な処置になるものを一足先に見られたので大いに勉強になりました。

他にも多くの発見がありましたが文章の都合上割愛します。ただ一つ間違いなのは日本で医療に真剣に向き合うことがアメリカの医療に対しても通じることです。アメリカで使用できる薬の多くは日本でも認可されており、日本でもアメリカでも同じように治療することが出来ます。ただその上で患者さんの背景や経済状況家族構成等に思いを巡らせ

力することに初めて医療の質を高めることができるという改めて気づかされました。今回の研



おまめりす。

医学科五年 佐藤 菜津

私は、三沢研修に異文化交流半分、自分の語学力を試す目的が半分で参加しました。基地内ではアメリカ人のリアルな感覚や文化を感じることが出来ます。日本ではセンシティブな内容も、ケロッとした顔で話すので、「当たり前前」の違いを感じることが出来ました。これは、彼らの日常に受け入れていたことと得



られた学びだと思っています。また、スタッフは他分野の大学を卒業後、入隊した修を通して単にアメリカの医療を知ると言うことだけでなく、日本の医療の現場や自分のやるべきことが明確にされ今後の医師としての人生において良いスタートラインを作れたと思っています。末筆になりますが、いただいた先生方や米軍病院の事務の方々には大変感謝しております。ありがとうございました。

方多いので、とにかく話題が広いです。語学的な目的で参加を考えている人は涎が出るような環境ですね。私は三日目位から思考言語が英語になり、研修後三日ほどは日本語が不自由になりました。皆さん、こちらが話すのを一生懸命聞いてくださるので、是非たくさん話してください。私が三沢研修をお勧めしたいのは、①語学力を試してみたい人、②海外留学・勤務のシミュレーションをしたい人、③自分の価値観を広げたい人です。②については、米軍留学を目指す日本人フェローの先生がいらっしゃるの、具体的なお話が聞けます。個人的には③を推したいです。未知との遭遇に快感を感じるタイプの人、新しい世界を持つて参加すれば、必ず得るものがある方は是非参加してみてください。

米軍三沢病院夏季研修

医学科五年 工藤詩織

夏休みの第一週目、八月二日から六日までの五日間、米軍三沢病院での夏季研修に参加させていただきました。三沢では内科医であるDr. Jason Edwardsのお宅で、ご家族と楽しいホームステイ生活を送らせ

で刺激的な経験をする事ができました。

米軍病院では救急科、一般内科、整形外科、小児科、産婦人科で実習を行いました。診察や処置を見学したり、講義を受けたりしながら米国での医療について学



びました。予診をとったり、日本での治療について尋ねられたりするなど診療に参加する機会もあり、自分の拙い英語で医療に関してコミュニケーションをとるのが楽しかったです。米軍病院で一番驚いたのは医師以外の医療従事者の診療の範囲が日本よりも広いことです。診察や治療を看護師やPhysician Assistantが行うなどチーム医療が行われているように感じられました。

五日間と短い期間でしたがこの紙面では表現しきれないほど多くのことを学び、大変有意義な時間を過ごすことができました。最後にこの研修に関係してくださったすべての方々にお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

今回、米軍三沢病院での
病院実習に参加する機会を
頂き、本当にありがとうございました。

実習では内科や救急な
ど、様々な科を見学しまし
た。はじめは基地内の方々
の会話スピードについてい
けず、理解することに必死

でしたが、英語でコミュニケーションをとるうちに少しずつ耳も慣れていきましました。基地内の先生方とても優しく、症例について丁寧に説明して下さり、私が拙い英語で質問しても、分かりやすく教えて下さいました。実習を通して、日本

米軍三沢病院夏期研修を終えて

医学科五年 鈴木 咲 楽

今回、米軍三沢病院での
病院実習に参加する機会を
頂き、本当にありがとうございました。

でしたが、英語でコミュニケーションをとるうちに少しずつ耳も慣れていきましました。基地内の先生方とはとて

コラム
医学部
乙ほね話…

日々の過ぎゆく速さはいかばかりか！ 気づけば、あつという間に令和四年の声が届いてきてそうです。

新型コロナウイルス感染
が世間を恐慌に陥れてか
ら、二十か月が過ぎました。

実習を通して、国や言語は違えど、医学的知識は同じであるのでまずは専門知識を身につけることが大切であること、英語はとにかく使ってみることが自信と上達につながると感じました。今回参加させて頂いたことに感謝し、これからも医学や英語の勉強に励みたいと思います。

長い自粛期間は如何お過ごしでしょうか。教職員は、会議のオンライン化、出張や飲み会がなくなりました。学生の皆様は部活動が制限され、アルバイトも大幅に禁止されてしまいました。結果として、「おうち時間」を充実させるため、映画やTVの視聴やネット

はんを食べさせたい！」のクラウドファンディングは、第一弾、第二弾ともに目標金額を大幅に上回る支援をいただきました。本快挙は、本学卒業生と教職員の愛校精神の高さと、いかに弘前大学が地元へ溶け込み愛されているかを如実に示していると思います。

の声の他に、ネットショッティング（いわゆる『ポチる』）を楽しんでいる方が多いのに驚きました。かく言う私も例にもれず、自宅に段ボールがあふれています。ポチっとするのは何となく楽しいし、ストレス発散にもなりますよね。

たたいまーナイトかな
くなり困窮する学生に100円
でごはんを食べさせた
いー! 第三弾が実施されて
います。どうぞ学生の美味
しい笑顔とお礼の言葉をこ
覧になって下さい! 本クラ
ウドファンディングに「ボ
チる」のも、ちょっとワク
ワクしますよ。

激動のアメリカでの留学体験

大学院生だより・留学だより

とアメリカの医療の多くの違いにも気づきました。特に産婦人科で、避妊に対する考え方や避妊方法の日本との違いを知ることができ、海外の医療に目を向けていくことが、日本のよりよい医療体制を作るために必要だと感じました。

期間中は看護師さんのお宅にホームステイさせていただきました。二人のお子さんと、放課後になると毎日一緒にテニスをした。毎日のご飯もアメンで、本当にアメリカ人のようにでした。短い間でしたが、とても楽しく過すことができました。

今回、青森県にいな

海外の医療を体験することができ、英語・医療で多くのことを学ぶことができました。どちらもまだまだ未熟なので、少しずつ力を付けていけるよう努力していきます。



と新型コロナウイルスのワクチンを共同開発したことで有名となりましたが、中でも国立アレルギー感染症研究所所長アンソニー・ファウチ博士を知らない方はいないことと思います。NIHは二十の研究所と七つのセンターから成り立っている巨大な研究所（図1）で医師を含め六千名以上の科学者が日夜研究に励んでおります。私は、国立がん研究所 (National Cancer Institute: NCI) の Yves Pommier (イブ・ポミエ) 博士の研究室に所属して様々ながん細胞を使用した基礎研究を行っております。ポスのYvesはトポイソメラーゼと抗癌剤研究の専門家ですが、薬理学系の研究室であり新薬の前臨床研究並びに腫瘍細胞学を幅広く行っています（図2）。

地域救急医療学講座 助手 村井康久
(消化器血液内科学講座)

この度、アメリカ・メリーランド州の国立衛生研究所 (National Institutes of Health, NIH) に二〇一九年四月から二〇二一年三月までの二年間留学しておりましたので、御報告をさせていただきます。

このNIHはモデルナ社

で、以前同じ研究室に在籍
されていた村井純子先生
(現 慶応大学先端生命科学
研究所・山形県鶴岡市)が
DNA障害性抗癌剤による
(次ページへ続く)



☒ 1. NIH Bethesda Campus Building 1.

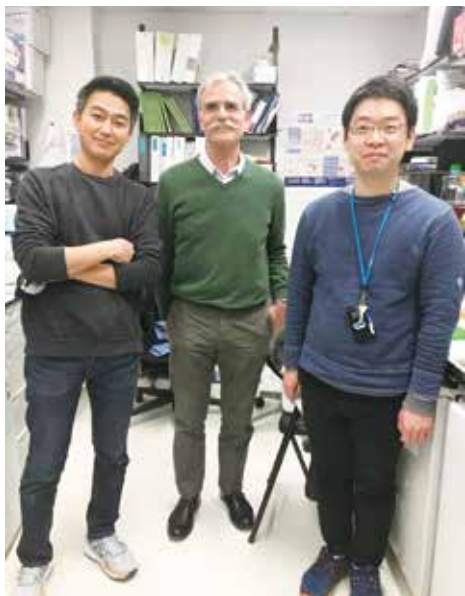


図2. Team SLFN11. 左よりDr. Ukhyun Jo, ボスのDr. Yves Pommier, 私.



図4. Dr. Naoko Takebe (右).

(前ページより)
DNA複製停止との関係について詳細に研究されています (http://slh11.izb.keio.ac.jp/)。しかしながら、細胞内での機能はいまなお不明な点が多い遺伝子であり、共同研究者を募っているところだ。

さて、アメリカでの研究生生活ですが、最初のうちは慣れない英語、実験で苦勞し、一日十二時間以上研究室にいてもよくありました。しかし、中には十時にきて十五時に帰るといふ研究者も珍しくありません。それでも結果が出ていれば許容されるというアメリカの研究風土をつくづく実感いたしました。英語は最後まで苦勞しましたが、そんな自分にも同僚は気軽に話しかけてくれ毎週金曜日にはベセスダ市街でビールを片手にHappy hourを楽しんでおりました(図3)。

また、この二年間は激動のアメリカを感じる出来事が多くありました。ユダ



図3. Happy Hour on Friday.

腫瘍内科学講座の陳豫(チン・ヨ)と申します。今回医学部ウォーカーに腫瘍内科及び腫瘍内科医として働いている自分を紹介させていただきます。

腫瘍内科は今年の七月からフルメンバーの三人で外來・病棟業務を行うことになっていきます。昨年より医師が一人減になりました。病床が六床に減り、新患者者は固形腫瘍、ゲノム新患(特に武部直子先生にYves Labの紹介から研究の相談、プライベートでコンサートや食事に誘っていただくなど大変お世話になりました(図4)。武部先生は、弘前大学の学生・先生がNIHへの留学することを切望されております。今後もNIHへの留学が継続され、いろいろな研究が発展することを願っております。私もこのご縁を大切に、これからも研究を継続していきたいと考えております。最後にになりましたが、留学の機会をくださった福田眞作教授、櫻庭裕丈先生、留学支援をしてくださった同門会月水会の先生方に心より感謝申し上げます。

腫瘍内科は今年の七月からフルメンバーの三人で外來・病棟業務を行うことになっていきます。昨年より医師が一人減になりました。病床が六床に減り、新患者者は固形腫瘍、ゲノム新患(特に武部直子先生にYves Labの紹介から研究の相談、プライベートでコンサートや食事に誘っていただくなど大変お世話になりました(図4)。武部先生は、弘前大学の学生・先生がNIHへの留学することを切望されております。今後もNIHへの留学が継続され、いろいろな研究が発展することを願っております。私もこのご縁を大切に、これからも研究を継続していきたいと考えております。最後にになりましたが、留学の機会をくださった福田眞作教授、櫻庭裕丈先生、留学支援をしてくださった同門会月水会の先生方に心より感謝申し上げます。



若手教員・医師だより

腫瘍内科 助手 陳 豫

のみになりました。固形腫瘍の患者は、状態が安定していて、地元でも当院と同等の治療が可能と判断された場合は積極的に他院へ紹介します。ゲノム新患は二〇一九年九月から始めました。そのきっかけは、二〇一九年五月にがんゲノム検査が保険適応で承認され、九月に当院ががんゲノム医療拠点病院と指定されたからです。がんゲノム検査の結果に対して、週一回、エキスパートパネルという臨床、病理、遺伝など多数の専門医による遺伝子パネル診断を行っています。二年間で計二百十例のがんゲノム検査が実施されました。そのうち、他施設・他科からの紹介は五十九例、治療提案(エビデンスレベルC以上、国内でPhase II以上の臨床試験)のある症例は二十八例(一三%)で、がん原因遺伝子が判明されたのは八〇%以上です。腫瘍内科医は三人と少ない人数ですが、多数の先生方のおかげで、がんゲノム外來の他に週二回開催のキャンサーボードのコアメンバーとして、病院全体のがん患者の治療方針の決定にも寄与しております。

腫瘍内科医を志したのは、がんになった母親との約束です。腫瘍内科を入局してから六年目になり、たくさんの方々の助けでやっていくことができました。専門医がとれるまで後も少しです。腫瘍内科医は全

ての科の知識が要求されます。何回も挫折して悩んだこともありました。今年の四月夫が山形へ転勤、七月子供達の世話をずつとしてくれた義理の両親が帰国したので、初めて子供二人と三人きりの生活になってしまいました。家事・子育て・仕事、そしてわけのわからない畑仕事をどうやっていくのかを考えるたびに泣いてしまいました。しかし、この三ヶ月で、腫瘍内科の皆様、一緒に働いている看護師にいろいろな相談をさせていただき、一つ一つの悩みが解決できました。そして近隣のおばあちゃんたちが毎日食事を持ってきてくれて、一番の食事問題も解決できました。最もうれしいことは十二月に義理の両親が戻ってきてくれることです。家族、腫瘍内科の皆様、一緒に働いている看護師・事務の方々そして近隣のおばあちゃんのおかげ様で、大変な生活の中でも日々幸せを感じました。これからも初心を忘れず、恩返しできるように頑張ります。

産婦人科の大澤有姫と申します。平成二十一年に弘前大学を卒業し、卒後臨床研修を弘前大学医学部附属病院で行った後に産科婦人科学教室に入室しました。産婦人科を選択した理由としては、癌診療もお産もやりたいという欲張りな想いからでした。当時は一年上の先輩たちが六人入室しており、私の学年も六人入室という初期研修医制度が始

産婦人科の大澤有姫と申します。平成二十一年に弘前大学を卒業し、卒後臨床研修を弘前大学医学部附属病院で行った後に産科婦人科学教室に入室しました。産婦人科を選択した理由としては、癌診療もお産もやりたいという欲張りな想いからでした。当時は一年上の先輩たちが六人入室しており、私の学年も六人入室という初期研修医制度が始

産婦人科の大澤有姫と申します。平成二十一年に弘前大学を卒業し、卒後臨床研修を弘前大学医学部附属病院で行った後に産科婦人科学教室に入室しました。産婦人科を選択した理由としては、癌診療もお産もやりたいという欲張りな想いからでした。当時は一年上の先輩たちが六人入室しており、私の学年も六人入室という初期研修医制度が始

産婦人科の大澤有姫と申します。平成二十一年に弘前大学を卒業し、卒後臨床研修を弘前大学医学部附属病院で行った後に産科婦人科学教室に入室しました。産婦人科を選択した理由としては、癌診療もお産もやりたいという欲張りな想いからでした。当時は一年上の先輩たちが六人入室しており、私の学年も六人入室という初期研修医制度が始

産婦人科の大澤有姫と申します。平成二十一年に弘前大学を卒業し、卒後臨床研修を弘前大学医学部附属病院で行った後に産科婦人科学教室に入室しました。産婦人科を選択した理由としては、癌診療もお産もやりたいという欲張りな想いからでした。当時は一年上の先輩たちが六人入室しており、私の学年も六人入室という初期研修医制度が始

産婦人科の大澤有姫と申します。平成二十一年に弘前大学を卒業し、卒後臨床研修を弘前大学医学部附属病院で行った後に産科婦人科学教室に入室しました。産婦人科を選択した理由としては、癌診療もお産もやりたいという欲張りな想いからでした。当時は一年上の先輩たちが六人入室しており、私の学年も六人入室という初期研修医制度が始

産婦人科の大澤有姫と申します。平成二十一年に弘前大学を卒業し、卒後臨床研修を弘前大学医学部附属病院で行った後に産科婦人科学教室に入室しました。産婦人科を選択した理由としては、癌診療もお産もやりたいという欲張りな想いからでした。当時は一年上の先輩たちが六人入室しており、私の学年も六人入室という初期研修医制度が始

産婦人科の大澤有姫と申します。平成二十一年に弘前大学を卒業し、卒後臨床研修を弘前大学医学部附属病院で行った後に産科婦人科学教室に入室しました。産婦人科を選択した理由としては、癌診療もお産もやりたいという欲張りな想いからでした。当時は一年上の先輩たちが六人入室しており、私の学年も六人入室という初期研修医制度が始

産婦人科の大澤有姫と申します。平成二十一年に弘前大学を卒業し、卒後臨床研修を弘前大学医学部附属病院で行った後に産科婦人科学教室に入室しました。産婦人科を選択した理由としては、癌診療もお産もやりたいという欲張りな想いからでした。当時は一年上の先輩たちが六人入室しており、私の学年も六人入室という初期研修医制度が始

産婦人科の大澤有姫と申します。平成二十一年に弘前大学を卒業し、卒後臨床研修を弘前大学医学部附属病院で行った後に産科婦人科学教室に入室しました。産婦人科を選択した理由としては、癌診療もお産もやりたいという欲張りな想いからでした。当時は一年上の先輩たちが六人入室しており、私の学年も六人入室という初期研修医制度が始

産婦人科の大澤有姫と申します。平成二十一年に弘前大学を卒業し、卒後臨床研修を弘前大学医学部附属病院で行った後に産科婦人科学教室に入室しました。産婦人科を選択した理由としては、癌診療もお産もやりたいという欲張りな想いからでした。当時は一年上の先輩たちが六人入室しており、私の学年も六人入室という初期研修医制度が始

産婦人科の大澤有姫と申します。平成二十一年に弘前大学を卒業し、卒後臨床研修を弘前大学医学部附属病院で行った後に産科婦人科学教室に入室しました。産婦人科を選択した理由としては、癌診療もお産もやりたいという欲張りな想いからでした。当時は一年上の先輩たちが六人入室しており、私の学年も六人入室という初期研修医制度が始



初めてのマイボール

公益社団法人 青森医学振興会

【沿革】 平成11年3月1日 弘前大学医学部医学科後援会鵬校医学振興会発足 (任意団体)
平成13年4月2日 社団法人青森医学振興会設立認可
平成24年4月1日 公益社団法人青森医学振興会へ移行認定

当会では、青森県の医学・医療の発展を促進するため、次の事業活動を行っております。

- 医学教育活動の活性化を図るための事業への支援
- 医学・医療の高度化に資する医学研究事業への支援
- 地域医療の振興に寄与する事業への支援
- 海外との学術交流等の活性化を図るための事業への支援

随時、会員の募集とご寄附を受付しております。
本会の公益目的事業に対する寄附金(会費を含む)は、確定申告をしていただくことにより税制上の優遇措置の対象となります。
会費は下記いずれかの口座へご納入ください。
なお、ご入会をご希望される方は、専用の払込用紙をお送りしますので、お手数ですが当会までご連絡をお願いいたします。

口座名 公益社団法人 青森医学振興会			
口座	青森銀行 弘前支店	普通	1087485
	みちのく銀行 大学病院前支店	普通	0198579
	ゆうちょ銀行	口座記号番号	02200-4-57580
※青森銀行及びみちのく銀行の本店支店並びにゆうちょ銀行(注1)から振込む場合には、別途手数料は発生しません。			
会費	会員種別	年会費	注1...ゆうちょ銀行では、令和4年1月17日以降に、窓口及びATMにおいて現金で払い込みをする場合には、払込人様が付加料金110円をご負担いただくこととなりますので、ご注意ください。(口座からのお支払いをお勧めします。)
	医学部教員	1万円	
	医学部卒業生等	2万円	
	賛同する個人 賛同する団体	2万円 10万円	

ご寄附については、上記の口座へ振込手数料を差し引いた額をお振込みいただいて差支えありません。

お問い合わせ 公益社団法人青森医学振興会事務局
TEL・FAX 0172-40-2872 E-mail: info@aomori-mpm.jp



コロナ禍で未だに日の目を見ないボウリングユニフォーム

（前ページより）
の選択肢が増えて予後が良くなることは非常に嬉しいことです。治療法が発展する傍らで、コンパニオン診断や遺伝子パネル検査ができるようになってきました。患者さんにとっては、自分の治療法につながるかもしれない遺伝子変異を検査できる一方で、自分の子供たちが将来的に癌になるかもしれないリスクが判明してしまいます。私はまだカウンセリングをできる立場ではありませんが、患者さんに寄り添いながら必要な情報をきちんと伝えることのできる医師になれるよう、今後も研鑽を積んでいきたいと思っています。余談ですが、新たな興味がある一つ。コロナ禍の前に一部の教職員でボウリング部を立ち上げました。感染対策も兼ねてマイボールを作り、細々と活動していま



す。マイボールのおかげでスコアのアベレージが30くらい上がりました。仕事と部活の両立は良い意味でオンラインがはつきりしており、メリハリのある生活が来ています。
最後に、産婦人科は幅広い分野で構成されており、どの分野の勉強も必要となりますが、逆に飽きることはありません。幅広い分野をカバーしながら新しいことに挑戦していくために、後輩が増えてくれることはすごく嬉しいことです。後輩の先生方にも自分の興味のある分野を見つけてもらって、一緒に頑張っていきたいと思っています。

脳神経病理学講座

脳神経病理学講座 教授 若林孝一

当教室は医学研究科附属脳神経血管病態研究施設（脳研）に所属しています。脳研は一九六五年に設置され、その時最初にできた成因部門が当教室の始まりです。二〇〇七年四月の大学院部局化の際に分子病態部門から現在の名称になりました。
教室の構成員は私の他に、森文秋（准教授）、丹治邦和、三木康生（助教）、中田美知子（技術補佐員）がおります。現在、岩手大学修士課程の学生（田中誠）を受け入れています。今は研究室研修の学生がいて、にぎやかです（写真）。また、ポolandから留学生が来る予定ですが、コロナ禍で延期となっています。教室の方針としては、
種々の脳疾患剖検例の病理学的検索から得られる知見を研究の基盤としています。現在の主な研究テーマは、
（一）パーキンソン病と多系統萎縮症における封入体形成メカニズム、（二）認知症における神経細胞変性と蓄積物質、（三）遺伝子改変モデル動物を用いた病態解析と治療法開発です。特に神経変性疾患の多くは、異常な蛋白が脳内に蓄積する蛋白蓄積病であり、異常蛋白の蓄積を抑制することで、病態の進行を遅延、阻止することを目指しています。



脳血管病態学講座

脳血管病態学講座 教授 今泉忠淳

令和三年十月現在、脳血管病態学講座には、今泉忠淳、瀬谷和彦助教、川口章吾助教、唐沢貴生助手、大学院生一名、事務補佐員一名が所属しています。脳血管病態学講座は、昭和四十二年に脳卒中研究施設病態生理部門として発足し、初代水野成徳教授、二代高松滋教授の時代には、当時青森県で最重要課題であった「脳卒中」の研究が行われていました。三代佐藤敬教授（前弘前大学長・現青森中央学院大学学長）は、脂質性血栓促進因子「platelet-activating factor (PAF)」の研究で大きな業績をあげました。

講座の構成メンバーは、緊密な連携の下に、「脳血管病態学」という講座名にとらわれず、それぞれが独自の研究テーマに取り組んでいます。今泉は、「脳微小血管内皮細胞における自然免疫」と「慢性炎症性疾患における自然免疫」に興



当講座で実験中の整形外科学講座所属大学院生

な教室でも大きな仕事が可能です。
五）『かわいい子には旅をさせよ』。スタッフの森はバルセロナ、丹治はヒューストン、三木はロンドンに留学しました。異文化体験も重要です。
六）『学問研究の扉は常にオープンであれ』。不揃いな木を組むことで、強い建物を作るのが日本古来の伝統。異質なものを交わるべき。
七）『人生は楽しく、幸せに』。幸せであることが、人生の目標と考えます。そのための学問研究です。
教室づくりの基本は「思いやり」でしょうか。「思いやり」とは単にやさしいとか、人に親切にという意味ではありません。相手にいやな顔をされても、言わなければならぬことがあると思います。手を差し出すよりも、何もしないことの方が相手のためになる場合もあります。忙しさにまぎれて「思いやり」をなくすと人間関係が殺伐としたものになります。プラトンは「学問」について、「生活を共にしながら、数多く話し合いを重ねてゆくうちに、突如として魂に火が生じ、以後は生じたそれ自身がそれ自体を養い育ててゆく」と述べています。研究とは自分自身を燃焼させることなのかもしれません。

写真コラム(14)
葛西嘉子氏の油絵と本間麻緒氏の切り絵
- 図書館医学部分館の最近の展示作品 -

脳血管病態学講座
教授 今 泉 忠 淳

弘前大学附属図書館医学部分館では、壁面を利用して、様々な絵画・色紙・写真・切り絵などを展示しています。本コラム(3)で、故・木村正方先生の絵画を紹介しましたが、最近加わった2作品を紹介します。

本年(令和3年)9月に、葛西嘉子氏から、「弘前大学医学部」【写真1】という油絵を御寄贈いただき、1階から2階への踊り場に展示させていただきました。この作品は、2020年から2021年にかけて制作されたものです。葛西嘉子氏は、昭和17年(1942年)生まれで、現在79歳です。60歳で定年を迎えるまで事務職員として弘前大学に勤務された方で、医学科の事務にも勤務されたことがあるという事です。これまで、医学部分館には「岩木川」「白樺」(以上、2階の自修室)「漁港」(階段踊り場)の3枚の作品を展示させていただいており、今回の作品が4枚目となります。

もう一点は、本間麻緒氏の切り絵【写真2】で、2階の閲覧室に展示しています。本間麻緒氏は、令和2年に弘前大学大学院教育学研究科修士課程を修了された切り絵作家で、その作品の精緻さ、芸術性には素晴らしいものがあり、必見です。本間麻緒氏の作品は、文京町の弘前大学資料館にも展示されています。修士課程を修了されるにあたって、この作品を御寄贈くださいました。業務や勉強で身体や心が疲れたときにも、図書館医学部分館に足を運んでいただき、芸術に接していただけたら、と思います。



【写真1】葛西嘉子氏の絵画



【写真2】本間麻緒氏の切り絵

(前ページより)
滑膜細胞」、呼吸器内科学講座と「気道上皮細胞」、消化器外科学講座と「胆道閉鎖症や大腸癌」などの、それぞれにおける自然免疫系の意義についての共同研究を行っています【写真】。今泉が着任した二〇一三年からは十七名の大学院生が博士(医学)を取得しています。

瀬谷は、大動脈弁狭窄症における弁の異所性石灰化の機構(胸部心臓血管外科学講座との共同研究)、川口は、非アルコール性脂肪性肝炎における自然免疫の意義(消化器血液内科学講座との共同研究)、唐沢は、糸球体血管内皮細胞の自然免疫応答(小児科学講座との共同研究)、大学院生の

形成外科は一九六三年に皮膚科学講座内に形成外科同好会として発足し、一九六九年には皮膚科外来内の特殊外来として本格的な診療がスタートしました。その後菅原光雄先生を初代教授として、一九八二年四月に医学部附属病院診療科として独立しました。その後一九九五年には医学部講座も新設され、二〇一二年一月より漆館聡志が三代目教授に就任し、来年で創立四十年目となります。

形成外科は「体表面の先天的・後天的な変形・欠損を修復し、機能的・形態的回復をめざす外科系の分野」と定義されています。対象部位は頭部から体幹、四肢まで全身で、扱う疾患も外傷から皮膚軟部腫瘍、先天異常、外傷後、手術後後遺症、難治性潰瘍、他科診療科腫瘍切除後再建まで多岐にわたります。外傷では高度救急救命センターなどと連携しながら重症熱傷、顔面外傷、顔面

形成外科学講座

形成外科 講師 三 上 誠

骨折などの治療をしています。特に熱傷治療では再生医療や組織工学を臨床応用した培養表皮移植、人工真皮移植や線維芽細胞増殖因子を併用した治療や早期リハビリにより救命率や治療後のQOL向上を目指しています。皮膚軟部腫瘍においてはオンコプラスティックサージャリー概念を取り入れ、腫瘍の根治性を担保し

たうえで、患者のQOLを最大限維持する治療を心がけています。特に顔面組織再建では局所皮弁を駆使した整容的かつ機能的再建に重点を置いた新たな術式を開発し成果を上げています。他診療科の腫瘍切除後再建では頭頸部腫瘍切除後再建を筆頭に、主にマイクログラフ・ジャリリーを用いた組織移植で多くの診療科と連携しています。乳がん切除後のエキスパンダー・インプラント再建も年々手術件数が増加しており、現在では乳房再建専門外来を開設し診療を行っています。一方、研究においては基礎研究では局所皮弁の生着



率向上を目的とした効果的組織移植法の開発、多血小板血漿の臨床効果の検証など臨床に直結した研究を行っています。また臨床においても顔面ユニット原理に基づく新たな手術法の開発、難治性潰瘍に対するより低侵襲な治療法の開発など患者のQOL向上に直結するテーマで研究を行っています。教室員の数も年々増加し、現在十四名で診療を行っています。しかし、常勤医のいる関連施設がまだ少なく非常勤医師として地域医療の対応をしておりますが、顔面外傷、熱傷などの救急疾患に対して我々形成外科医が初期に対応できないこともまだ多くあり、各地域の関連施設への常勤医設置を早期に実現していきたいと考えております。最後になりますが、何かお困りの症例がございましたらお気軽に御相談いただければ幸いです。

水泳部

部活動紹介

医学科二年 村 中 璃 那

私たち水泳部は現在全学含め男子約三十人、女子約二十人で活動しています。初心者から始める人もいますが、初心者コースを設けて先輩が付きっきりで教えてくれるため、どんどん上達することが出来ます。部活としての目標は「北部地区国公立水泳競技大会の団体権獲得」です。練習は週四日で活動場所は季節により異なり、冬はセントラルフィットネスクラブ弘前さんのプールで、夏は大学の所有する学園町にあるプールで泳いでいます。冬は朝六時三十分頃からの朝練です。そのため多くの部活と違い、夜の時間をバイトや勉強、筋トレなど自由に有効活用することが出来ま

弘前大学

後援会のご案内

弘前大学後援会では、学生の学業、課外活動への助成、学生の進路指導に必要な助成等学生生活の多岐にわたる分野の助成を行っております。つきましては、何卒本会の趣旨にご賛同頂きまして、各位の格別のご高配、ご支援を賜りますよう、切にお願い申し上げます。

なお、入会方法等の詳細については、弘前大学総務部 広報・情報戦略課 (Tel: 0172-39-3012、E-mail: jm3012@hirosaki-u.ac.jp) までご連絡いただくか、弘前大学後援会ホームページ (<https://www.hirosaki-u.ac.jp/kouen/index.html>) をご覧ください。

(前ページより)
年に続いて多くの大会が中止となってしまいました。そのため、普段の練習で各大会に見立て、同じ日にタイム測定し自己ベスト更新を目指す模擬大会を行っていました。実際に開催された時に輝かしい功績を収められるよう日々精進しています。水泳は個人競技に見えて仲間の存在がとても大きく、共にきついメニューを泳ぎ、励まし合ったり、練習後にアドバイスしあったりして部員同士切磋琢磨しています。行事を通し仲間



との親睦を深め楽しみながら活動することが出来ています。最後にりましたが、私

山岳部

医学科三年 澁谷 真呼

弘前大学医学部山岳部は、県内や東北の山を中心に登山活動を行っています。山岳部と聞くと、きつくて厳しいイメージがあるかもしれませんが、部員のほとんどは大学から始めた初心者です。また、山行への参加も自由参加となっています。全学の山岳部と合同で活動することもあり、最近では、夏は沢登りやクライミング、冬はバックカントリースキーもおこなっています。沢登りとは、登山道具を背負って沢を歩き、釣りをしたり、滝があればそこを登ったりして川を遡るスポーツです。県内では、六月から十一月頃まで白神山や八甲田山で沢登りを楽しむことができます。クライミングは、昨年から参加する部員が少しずつ増えてきました。市内には、ボルダリングジムがあるので、そこで練習している部員もいます。初心者でも、経験者に教えてもらいながら実際の崖を登ることが出来ます。バックカントリースキーは、山の麓からスキーを履いたまま登り、滑って降りてくるスポーツです。スキー板の裏に、シールという雪面を登るための布を貼って斜面を登ります。県内では、十二月から五月まで楽しむことができます。雪山を登ったあと、滑って降りてくるのはとても気持ちが良いです。去年からは、新型コロナウイルス

たち水泳部を支援してくださっている先生方、OB、OGの皆様がこの場を借りて感謝申し上げます。今後とも水泳部をよろしく願います。

と間違いありません。そして、何といっても登山の一番の魅力は、登頂したときの達成感です。麓から見たときに、途方もなく遠く感じた山頂に自分が立つ感覚はやみつきになります。また、一緒に登った仲間と一層距離が縮まるのも魅力の一つです。医学部山岳部では、マイペースに一年を通して違う楽しみ方ができます。拙い文章ではありますが、みなさんに山岳部の魅力が少しでも伝われば幸いです。



テレビに出演して

ATVテレビ診察室に出演して

脳神経内科 講師 西 嶋 春 生

二〇二一年十月十七日放送の「ATVテレビ診察室」に出演しました。テーマは認知症です。認知症に関する一般論と、アルツハイマー型認知症の特徴について話しました。このよう

な機会を頂き関係者の皆様に感謝申し上げます。厚生労働省は二〇一五年に認知症施策推進総合戦略「新オレンジプラン」を発表しました。この中で二〇

(次ページへ続く)

青森 あずまし 温泉紀行

31

鬼 島 宏
(病理生命科学講座・教授)

東八甲田温泉
さかた温泉(七戸)
天間林温泉
すもも沢温泉郷

前回に続いて、奥が深い単純温泉を紹介しますが、今回は七戸町のアルカリ性単純温泉(以下)を巡ります。

東八甲田温泉(第百二十湯:七戸町荒瀬内:二二時迄)は、七戸十和田駅・道の駅しちのへの近くに位置する微褐色透明のアルカリ性単純温泉です。内装もきれいな、大きめの銭湯ですが、宿泊もできる施設です。大浴場は、温湯(ぬるめ)・熱湯(あつゆ)・水風呂の湯船があり、いずれの湯船もヒバ材を使っており、好感が持たれます。温湯といえどもそれなりの熱さで、熱湯はかなりの熱さとなっていますが、個人的にお気に入りとなった温泉の一つです。

前回に続いて、奥が深い単純温泉を紹介しますが、今回は七戸町のアルカリ性単純温泉(以下)を巡ります。

わる付近にあります。薄茶色透明のアルカリ性単純温泉の湯が洗場の床までかけ流されてきており、気持ちが良い感じでした。中央の浴槽に加えて、奥に温湯・熱湯の浴槽があります。

天間林温泉(第百二十二湯:七戸町森ケ沢)は、国道四号線沿いの旧天間林村に位置し、現七戸町役場近くにあり、微褐色透明のアルカリ性単純温泉で、三つある浴槽の中央湯口から大量の湯が出ており、豪快なかけ流し間を味わえます。

すもも沢温泉郷(第百二十三湯:七戸町李沢道ノ下:二二時迄)は、青い森鉄道の東側、七戸町の東端にあります。心地よい湯温で、すべすべ感たっぷり、薄褐色調のアルカリ性単純温泉です。プレハブ風建物(新館)で簡素な室内には、木製の湯船から大量の湯がかけ流されており、建物と泉質のギャップを大いに楽しめる温泉です。

七戸町へ立ち寄った際には、是非とも二ツ森貝塚に立ち寄ってください。二〇二一年七月に世界遺産となった北海道・東北の縄文遺跡群の一つです。近くの二ツ森貝塚館は、廃校となつた七戸町立天間東小学校が使われてノスタルジックな雰囲気があります。校舎二階の職員室・放送室などを改修して大型の貝塚断面などの展示は見る価値大いにあります。



東八甲田温泉



すもも沢温泉郷

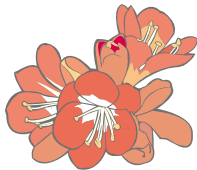


二ツ森貝塚(世界文化遺産)



すもも沢温泉郷(大量の湯がかけ流されている)

ですが、これらが認知機能を改善する、または悪化を止める、という効果があるかどうかまでは確定していません。日本では認可申請中で根本治療が確立されていない現状では、薬物治療の役割は限定的で、介護ケアや各種社会サービスを受けるた



めの支援がより重要です。多診療科・多職種の協力が不可欠で、医療機関では私たち脳神経内科以外に、精神科、脳神経外科、一般内科などが診断・治療に関わっていますし、また専門医療機関や総合病院とかかりつけ医がそれぞれの役割を担っています。包括支援センターや介護施設などとの連携も大事です。

困りつつある認知症患者とその家族を医療・介護につなげていくために、「テレビ診察室」のような地域住民への健康教育企画は大変有用だと思います。これからも機会が頂ければ発信していきたいと思っています。

人事異動 (R3.9.1 ~ R3.11.30)

● 医学研究科所属

【採用】

発令日	所 属	職 名	氏 名	前 所 属
R3.10.1	胸部心臓血管外科学講座	助教	于 在強	青森労災病院
R3.10.1	消化器外科学講座	助教	鍵谷 卓司	沖縄県立八重山病院
R3.10.1	地域救急医療学講座	助教	對馬 誉大	JCHO 秋田病院
R3.10.1	脳血管病態学講座	助手	唐沢 貴生	小児科 医員
R3.10.1	脳神経外科学講座	助手	藤原 望	脳神経外科 医員
R3.11.1	地域医療学講座	助手	野月 徳実	眼科 医員

【昇任】

発令日	所 属	職 名	氏 名	前 所 属
R3.10.1	むつ下北地域医療学講座	准教授	柳町 幸	内分泌内科・糖尿病代謝内科 講師
R3.11.1	不整脈先進治療学講座	講師	伊藤 太平	不整脈先進治療学講座 助教

【配置換】

発令日	所 属	職 名	氏 名	前 所 属
R3.10.1	救急・災害医学講座	助教	須郷 由希	集中治療部 助教

【辞職】

発令日	所 属	職 名	氏 名	異 動 先 等
R3.9.30	むつ下北地域医療学講座	准教授	村上 宏	むつ総合病院
R3.9.30	救急・災害医学講座	講師	矢口 慎也	山梨県立中央病院
R3.9.30	耳鼻咽喉科学講座	助教	工藤 玲子	青森県立中央病院
R3.9.30	脳血管病態学講座	助手	佐藤 理子	青森県立中央病院
R3.9.30	地域救急医療学講座	助手	猿田 賢也	整形外科 医員
R3.11.15	臨床検査医学講座	教授	萱場 広之	秋田赤十字病院

臨床教授・臨床准教授新規称号付与者（令和3年11月1日付）

称 号 名	氏 名	現 職 名	称 号 付 与 日	称号付与期間	推薦講座
臨床教授	渡部 潤子	青森県立中央病院 小児科部長	2021年10月1日	2021年10月1日～ 2024年9月30日	小児科学
臨床准教授	森本 武史	青森県立中央病院 呼吸器内科 副部長	2021年10月1日	2021年10月1日～ 2024年9月30日	呼吸器内科学
臨床准教授	富田 卓	青森県立中央病院 整形外科部長	2021年10月1日	2021年10月1日～ 2024年9月30日	整形外科科学
臨床准教授	澤田 匡宏	つがる西北五つがる総合病院 麻酔科科長	2021年10月1日	2021年10月1日～ 2024年9月30日	麻酔科学
臨床准教授	時田 幸治	青森県立中央病院 麻酔科副部長	2021年10月1日	2021年10月1日～ 2024年9月30日	麻酔科学
臨床准教授	葛西 俊範	青森県立中央病院 麻酔科副部長	2021年10月1日	2021年10月1日～ 2024年9月30日	麻酔科学
臨床准教授	地主 継	八戸市立市民病院 第一麻酔科部長	2021年10月1日	2021年10月1日～ 2024年9月30日	麻酔科学
臨床准教授	鹿原 史寿子	八戸市立市民病院 第二麻酔科部長	2021年10月1日	2021年10月1日～ 2024年9月30日	麻酔科学



思いました。

アルバイトは、学生の生活と学業を支えています。が、教員にとっては、研究・教育の助けとなり、授業だけでは知ることのない学生のいろいろな面を知る機会となっています。学生達と寄附者の皆様と支援プロジェクトを企画した方々に感謝しています。

編集後記

● 附属病院所属

【採用】

発令日	所 属	職 名	氏 名	前 所 属
R3.10.1	内分泌内科，糖尿病代謝内科	講師	松橋 有紀	むつ総合病院
R3.10.1	整形外科	助教	MANIWA KEIICHIRO	整形外科 医員
R3.10.1	麻酔科	助教	竹川 大貴	八戸市立市民病院
R3.10.1	泌尿器科	助手	小西 栄	泌尿器科 医員
R3.10.1	麻酔科	助手	高島 陵	つがる総合病院
R3.10.1	脳神経外科	助手	柳谷 啓太	脳神経外科 医員
R3.10.1	高度救命救急センター	助手	上野 浩太	脳神経外科 医員
R3.10.1	高度救命救急センター	助手	田口 亮	弘前中央病院
R3.11.1	眼科	助手	小堀 宏理	眼科 医員
R3.11.1	検査部	助手	土屋 純一郎	増田病院 医師

【配置換】

発令日	所 属	職 名	氏 名	前 所 属
R3.10.1	集中治療部	助教	木下 裕貴	救急災害医学講座 助教

【配置変更】

発令日	所 属	職 名	氏 名	前 所 属
R3.10.1	脳神経外科	助手	木下 翔平	高度救命救急センター 助手

【辞職】

発令日	所 属	職 名	氏 名	異 動 先 等
R3.9.30	消化器内科, 血液内科, 膠原病内科	助教	田中 奈保子	武田薬品工業株式会社
R3.9.30	泌尿器科	助教	堀口 裕貴	市立函館病院
R3.9.30	麻酔科	助教	川口 純	つがる総合病院
R3.9.30	整形外科	助手	大山 哲司	誠仁会尾野病院
R3.9.30	麻酔科	助手	緑川 陽子	八戸市立市民病院
R3.9.30	脳神経外科	助手	佐々木 貴夫	脳神経外科 医員
R3.9.30	高度救命救急センター	助手	渡邊 崇人	弘前中央病院
R3.11.30	整形外科	助教	MANIWA KEIICHIRO	誠仁会 尾野病院
R3.11.30	神経科精神科	助手	長崎 舜平	神経科精神科 医員

診療教授等新規称号付与者 (R3.9 ~ R3.11)

称 号	氏 名	所 属	期 間
診療准教授	藤田 雄	腎臓内科	令和3年10月1日～令和6年9月30日
診療講師	長岐 孝彦	耳鼻咽喉科	令和3年11月1日～令和6年10月31日